印刷日時: 2020/03/23 14:46:28

		行事ID 146		事業所名		はぐくみ鶴見緑地教室			
作成日	令和元年11月5日(火)			計画作成者		阿部美穂		責任者	土門弘治
実施日	令和元年運動「ダ	雨天時		決行		実施区分	実施		
行き先	TIO DAN	<u> </u>	移動手段 徒歩5分						
目的	無限のスキルに大きな目標を持つことで向上心、継続する力を養います。 勝敗ではなく互いを褒め合うこと、アドバイスし合うことで自己表現や協調性を学びます。 ガラス越しに自分のダンス、動く姿を見ることで自ら評価し自己改善を成していきます。								
内容	事業所から徒歩5分ほどのダンススタジオに移動しレッスンを受けます。 スタジオインソラクター主導のもと職員も参加し、全体の流れをフォローします。 一般的な流は始まりのあいさつ、ストレッチ、アイソレーション、リズムとり、振付、クールダウン、終わりのあいさつ								
参加人数	12人								
職員人数	8人								

	行事報告ID 52 報告日 2019/12/24 (火) 報告者 阿部美穂
計画:Plan	評点
4	児童はお友達の動きや先生の言葉を聞いて真似たり自分の思うように動いたり、他の環境や先生と携わることで 集団活動の幅が広がりいろいろな先生に接する、教えてもらう良い機会だと思います。
実行:Do	評点
4	アイソレーション(柔軟運動)、キラキラ光る、パプリカ、サメサメ、USAと児童の興味のある曲に今回からキラキラ光るをしばらく入れ振り付けを定着させていくとのことでしたが、児童同士やスタッフの声掛けで皆が笑顔で頑張っている姿が見れ良かったと思います。
評価:Chec	k 評点
3	保護者の方からも喜んでもらえており、児童も楽しみにしてくれている様子なのである程度定着 出来た時期に発表会のようにしてはどうかと思いました。(年1回)
改善:Actio	n
	特に無し
改善要望	

印刷日時: 2020/03/23 14:46:28

		行事ID 146		事業所名		はぐくみ鶴見緑地教室			
作成日	令和元年11月5日(火)			計画作	成者	阿部美穂		責任者	土門弘治
実施日	令和元年	雨天時		決行		実施区分	実施		
行事	運動「ダンス TIO DANCE STUDIO」								
行き先	TIO DAN		移動手段 徒歩5分						
目的	無限のスキルに大きな目標を持つことで向上心、継続する力を養います。 勝敗ではなく互いを褒め合うこと、アドバイスし合うことで自己表現や協調性を学びます。 ガラス越しに自分のダンス、動く姿を見ることで自ら評価し自己改善を成していきます。								
内容	事業所から徒歩5分ほどのダンススタジオに移動しレッスンを受けます。 スタジオインソラクター主導のもと職員も参加し、全体の流れをフォローします。 一般的な流は始まりのあいさつ、ストレッチ、アイソレーション、リズムとり、振付、クールダウン、終わりのあいさつ								
参加人数	12人								
職員人数	8人								

	行事報告ID 48 報告日 2019/12/14 (土) 報告者 甲斐美咲
計画:Plan	評点
4	事業所を出てスタジオへ行き専門の先生に教わりながら活動をすることで一日の流れや活動にメリハリがつく。また、事業所以外の大人との関わり、その場での活動の仕方(ルール)を通して社会性を身につける。ダンスを通して身体をコントロールする力を養ったり、達成感を味わう。
実行:Do	評点
3	活動前から楽しみにしている子どもも多くスタジオに入り、自ら挨拶をしたり、振り付けを覚えたり曲に合わせてオリジナルの振付をしたり、それぞれが楽しみながら体を動かす事が出来ていた。二回目の活動で、前回バラつきが目立った始めと終わりの挨拶もしっかりと出来ていた。
評価:Chec	k 評点
3	全員で手を繋ぎ円になっての始めと終わりの挨拶、ストレッチ、アイソレーション、新しい振付、前回取り組んだ曲、踊り手とお客さんになっての発表、合間に水分補給の短い休憩が数回あり、テンポよく飽きずに楽しみながら取り組めるプログラムでとても良かった。
改善:Actio	n
	特になし。
改善要望	

印刷日時: 2020/03/23 14:46:28

		に声ID	1.4.0	古类可力	14 / 1	7. か白 日 4ヨ 山ム	± <i>k</i> 🖶		
		行事ID   146		事業所名	17 (	み鶴見緑地	<u>教</u> 至		
作成日	令和元年	11月5日(火)		計画作成:	者 阿部美	穂	責任者	土門弘治	
実施日	令和元年	12月14日(土	)	雨天時	決行		実施区分	実施	
行事	運動「ダ	ンス TIO DA	NCE STUDIO	O]					
行き先	TIO DAN	ICE STUDIO		科	多動手段	加手段 徒歩5分			
目的	無限のスキルに大きな目標を持つことで向上心、継続する力を養います。 勝敗ではなく互いを褒め合うこと、アドバイスし合うことで自己表現や協調性を学びます。 ガラス越しに自分のダンス、動く姿を見ることで自ら評価し自己改善を成していきます。								
内容	事業所から徒歩5分ほどのダンススタジオに移動しレッスンを受けます。 スタジオインソラクター主導のもと職員も参加し、全体の流れをフォローします。 一般的な流は始まりのあいさつ、ストレッチ、アイソレーション、リズムとり、振付、クールダウン、終わりのあいさつ								
参加人数	12人								
職員人数	8人								

	行事報告ID 47 報告日 2019/12/14 (土) 報告者 乗上彩花
計画:Plan	·····································
4	事業所とダンス教室の行き帰りの集団行動や協調性を学び、ダンス教室ではそれぞれ自分自身のダンスをする姿を鏡を通して見てみること、他のお友達の動きを見たりして動きを学ぶ。
実行:Do	評点
4	集団でリズムに合わせて動く事が難しい子もいましたが、それぞれ自分なりに動く子もいた。ペアになって先か後かを決めお互いに踊っている姿を見せ合う時間は他のお友達がどういう動きをしているのか客観視して見る事が出来る。
評価:Chec	sk 評点
3	全体的に楽しんで参加する子たちが多く、照れながらも踊ろうとする子たちが多くいた。「早くてわからない」となって座ってしまう子もいたが、頑張って踊ろうと切り替え参加出来ている子もいた。
改善:Actio	on
	楽しんで参加することはいいことだが、器材に触れて邪魔をしてしまうことや勝手に入ってはいけない場所に入ってしまう事があり、きちんと並んで待つことも多めに声かけをした方がいいと思った。
改善要望	